

ゾンビ回収婦

著者名： 小砂川 チト
出版社： 講談社

第175回芥川賞受賞作！
この世界の秘密をあなたに教えたい——。
わたしはこのホテルの、たったひとりの掃除婦。殺されたゾンビの骸を拾い集めて、世界を美しく保つのだ。AI〈やつら〉に侵食された世界で、夫とともに職を失ったわたし——の前にもうひとつの現実がたち顕れた。三十余年良い子で大人になったわたしは、これまでと変わらずに、懸命にひたむきに役割をこなしていく。感謝されず、褒められもしない。それこそまるで「 」みたいに？—気読み必至の圧倒的虚構世界〈リアルライフ〉。

月がきれいな夜に、誰かに思い出してほしいかった

著者名： 川代紗生
出版社： サンマーク出版

恋人に「プロポーズするなら元カノがいい」と告げられ、婚約寸前でフラれた桃子。田舎の父からも、「天国の母さんに、桃子が幸せになった姿を見せてやりたい」と言われてしまい…。ままならない気持ちを描く恋愛小説。

コンビニ兄弟4

著者名： 町田 そのこ
出版社： 新潮社

この優しい出会いは小さな幸せのはじまりだ。百合は大好きだった夫と別れ傷心の一人暮らしを始めるが、門司港で妙に賑うコンビニを発見する。舞人はかつてヒーローになりたかった。自分を見失う彼の元に突如訪れた「テンダネス着ぐるみ」任務。その背後にはとあるコンビニ店員との過去から今に繋がる熱い友情があった。報われるばかりの人生でなくとも手にすることが出来る小さな幸せがここにある。温かなコンビニ物語第四弾。

ファイア・ドーム 下

著者名： 辻村 深月
出版社： 小学館

25年前の夏、この町には炎が降り注いだ。百貨店受付嬢誘拐殺人事件という、身近で突然起こった全国レベルのニュースを、誰もがいつまでも終わらせたくなかった。傷ついた人をさらに傷つけてしまった土地に、事件の火の粉は、まだ残っている…。

人生賭博 横浜ネイバーズ（4）

著者名： 岩井 圭也
出版社： 角川春樹事務所

〈山下町の名探偵〉という二つ名を持つロンこと小柳龍一の幼馴染み、マツこと趙松雄。マツには人生の恩人とも言える存在がいたが…。表題作他、マッチングアプリ詐欺、ギフトットの孤独、ディープフェイクを描く作品を収録した、シリーズ第4弾。

神様の定食屋（5） この雨が止んだら

著者名： 中村颯希
出版社： 双葉社

高坂哲史が定食屋「てしをや」を妹とともに継いで3年。店は常連を中心に愛され、経営も軌道に乗ってきた。そして、哲史が神様から託されたもう一つの任務「死者の未練を晴らすこと」もつつがなく進んでいく。だが、てしをやにライバル店舗が登場し…。

薬屋のひとりごと 15

著者名： 日向夏
出版社： 主婦の友社

翡翠牌の持ち主である皇族の末裔を追う中で、猫猫たちは禁書でありながら優れた医学書でもある『華佗の書』を手に入れた。傷んだその書が復元されるのを待つうち、医官たちは抜き打ち試験を受けさせられる。猫猫は試験に合格して養父である羅門の下で投薬実験を行うことになり、羅門から医術について学べることを喜ぶが、その実験は大掛かりであり、市井の病人たちを使うというものだった。薬が効かぬ者は、場所を移されて外科手術が行われるというのだが-----。

バンクハザードにようこそ

著者名： 中山 七里
出版社： KADOKAWA

東雲は、箱根銀行に勤める友人・燎原が、銀行の粉飾決算による赤字を横領として押し付けられて自殺したことを知る。天才詐欺師の東雲は燎原の妹・杏子とタッグを組んで、箱根銀行を潰すため、ある計画を立て…。痛快エンターテインメント。

プレゼント

著者名： 伊坂 幸太郎
出版社： 新潮社

これはこれまで小説を愛してきてくれた人へ、そしてこれから小説の世界に一步踏み出す人へ贈るプレゼント。何気なく読んだ物語が、ふと目にした一行が、意外な言葉ひとつが、人生を大きく変えるかもしれない。現代を代表する7人の作家が「夏」をテーマに書き下ろした、驚きと切なさ、怖さと美しさ、何よりとびきりの面白さを詰め込んだ奇跡の一冊。さあ、あなたの人生に小説という選択肢を。

王国

著者名： 湊かなえ
出版社： マガジンハウス

生まれ故郷の海を愛する母と、国際協力事業団で海を守る仕事に就く父を見て育った浜崎朔也は旅行代理店を経て、満を持してウェルネス・ツーリズムの会社「海の王国」を興した。夢がようやく形になりかけた矢先、悲劇が…。プロマンス・ミステリ。

楽園

著者名： 夕木 春央
出版社： 講談社

亡き両親から不動産を譲り受けた康之は、失踪した賃借人・海原の遺留品整理の際に、群馬の山奥の謎の物件の存在を知る。そこは、切り立った岩壁に囲まれた、「楽園」と呼ばれる奇妙な場所だった。恋人の沙織と一緒にそこを訪ね、探索をはじめた康之たちは…。

ブティック

著者名： 池井戸 潤
出版社： ダイヤモンド社

池井戸潤、2年ぶりの最新長編（全578ページ）。「君、銀行辞めて、どうするの？」入行3年目、エリート街道を歩んでいた雨宮秋都は、ある案件をきっかけに、理不尽な戦力外通告を受けてしまう。退職を決意した秋都が見つけた、新たな希望とはー？

80代になるとたいていボケるか死ぬ70代は神様から与えられた特別な時間

著者名： 林真理子
出版社： 幻冬舎

70代は頭も体もまだ大丈夫。それなりに蓄えもできている。でもこれまでと全く同じことをしていたらダメ。できないことは諦め、楽しいことを大事にし、人生の新しいステージに立つ。同じ年代とばかりつるまず、ダイエットはしない。嫌われずに自慢話をするテクニック、お金にキレイな人と思われるおごり方。72歳の人気作家が本音で語る「健康」「おしゃれ」「仕事」「お金」「人間関係」「趣味」。確実に近づく「その日」を見つめ、今の1分1秒を楽しんで生きるための、痛快・人生論。

ほどよく距離を置きなさい

著者名： 湯川 久子
出版社： サンマーク出版

人を裁かず、心をほどく。一步引くとき、人は少しやさしくなれる。90歳の現役弁護士が見つけた、自分らしく前だけを見て生き抜く知恵。

生きてさえいれば

著者名： 小坂 流加
出版社： 文芸社

生きてさえいれば、きっといつか幸せが待っている一。『余命10年』著者の感動の遺作

漫画版 野武士のグルメ

著者名： 久住 昌之
出版社： 幻冬舎

定年を迎えた香住武は、昼下がりの散歩中、なんでもない焼きそばとキンキンに冷えたビールのうまさを知ってしまう。そして、ひとり飯の楽しさに目覚めた彼は、心もお腹も満たしてくれる至福の美味しさを探し始めるのだ。「風邪の予感を吹き飛ばす熱々タンメン」「気合入れ過ぎなご馳走スキヤキ」「殿様の麦とろ飯」「民宿の朝ごはん」など、全九編。